



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 アキレス株式会社

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中田 寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5540-9848

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	39,731	△6.8	860	△17.8	1,029	△17.8	526	△15.6
23年3月期第2四半期	42,624	1.4	1,046	69.5	1,252	63.1	623	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 408百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △57百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.79	—
23年3月期第2四半期	3.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	72,849	39,556	54.3
23年3月期	73,813	39,715	53.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 39,556百万円 23年3月期 39,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	△4.4	1,800	△28.2	2,000	△27.5	1,000	△33.8	5.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	195,627,147 株	23年3月期	195,627,147 株
24年3月期2Q	6,677,452 株	23年3月期	6,670,060 株
24年3月期2Q	188,953,955 株	23年3月期2Q	188,973,989 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、東日本大震災による急速な景気の冷え込みから徐々に持ち直しつつありましたが、ギリシャをはじめとする欧州各国の財政・金融不安等により急速に進行した円高は日本経済へ影響を与えると共に、世界同時株安を招き先行き不安から消費動向に大きく影を落としました。また継続する原油高、原発問題、改善の見られない雇用環境などにより景気の先行きは楽観できない情勢で推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは企業価値の増大をめざして、ブランド商品の育成と拡販、独自技術を活かした新商品開発、積極的なグローバル展開の推進、徹底した業務の効率化に取り組んでまいりましたが、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 39,731 百万円(前年同四半期比 6.8%減)、営業利益 860 百万円(前年同四半期比 17.8%減)、経常利益 1,029 百万円(前年同四半期比 17.8%減)、四半期純利益 526 百万円(前年同四半期比 15.6%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

シューズ事業は、小売価格の低価格化と競争激化の中、エコーシューズの契約終了もあって、前年売上を下回りました。その中において、4年目を迎えたジャパニーズ・コンフォート・シューズ「アキレス・ソルボ」は、靴専門店、百貨店を中心に順調に売り場構築が進み、前年売上を上回りました。また「スポルディング」は、天然皮革を使用した高機能設計エクササイズウォーキングシューズのクロスウォーカーや、日常の気軽なウォーキングで自然にシェイプアップ効果が期待できるトーンシューズのスリムトレーナーが市場で評価され、前年売上を上回りました。「瞬足」シリーズは、ジュニア用スポーツのトップブランドとして、2003年5月からの販売開始以来、累計で3,000万足を達成することができました。「スケッチャーズ」は、健康・美容志向が進む中で、特殊な靴底形状によって美しいカラダづくりに役立つエクササイズシューズのシェイプアップスを中心に拡販し、前年売上を上回りました。

シューズ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 10,133 百万円(前年同四半期比 6.5%減)、セグメント利益(営業利益)は 780 百万円(前年同四半期比 13.2%増)となりました。

<プラスチック事業>

レザー及び合成皮革を中心とする車体内装用資材は、日系を主体とした自動車メーカーの大幅な減産等の影響を受け、前年売上を大きく下回りました。

フィルムは、海外向け電材用や建材用が前半好調に推移しましたが、後半の景気減速が影響したことや北米事業の主力文具用が低調に終わったことから前年売上を下回りました。農業資材分野は、メーカーの寡占化の中で地域的な戦略が功を奏し、前年売上を上回りました。

建装資材の床材は、仮設住宅向けの需要等により前年売上を上回りましたが、壁材は震災の影響で、首都圏の新築住宅・マンションの着工が遅れたこともあり、前年売上を下回りました。

引布商品は、ボート及びテント商品の受注に遅れがありましたが、ゴム引原反や排水管用ジョイントの販売増により前年売上を確保しました。

プラスチック事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 16,565 百万円(前年同四半期比 11.1%減)、セグメント利益(営業利益)は 434 百万円(前年同四半期比 32.4%減)となりました。

＜産業資材事業＞

ウレタンは、長引く消費低迷の中、車輛用で一部回復の兆しがあり、インテリア関連では、バイオマス原料を使用したエコフォームマットレスが市場で評価され、前年売上を上回りました。

断熱資材は、住宅エコポイントの好影響に加え、震災の仮設住宅向け需要などにより、前年売上を上回りました。特にボード製品は、高断熱性能ボード「キューワンボード」の拡販により伸長しました。また、鉄筋コンクリート造建築向けが主力のシステム製品、中間素材であるスチレン製品も伸長しました。

静電気対策品は、電子部品業界の海外生産シフトの加速や業界再編の進行により前年売上を大きく下回りました。大型RIM成形品は、医療機器分野向けが好調に推移し、特にCTと血液診断装置等の増大に支えられ、前年売上を上回りました。

衝撃吸収材は、中国からの安価な輸入商品等の影響を受け、主力のインソール、サポーター商品が苦戦し、前年売上を下回りました。

産業資材事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 13,032 百万円（前年同四半期比 0.9%減）、セグメント利益（営業利益）は 884 百万円（前年同四半期比 2.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は 72,849 百万円で前連結会計年度末に比較して 964 百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産は 44,669 百万円となり前連結会計年度末に比較して 2,154 百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が 2,302 百万円減少したことによります。固定資産は 28,180 百万円となり前連結会計年度末に比較して 1,190 百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が 1,373 百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は 23,702 百万円となり前連結会計年度末に比較して 681 百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 1,260 百万円減少し、その他流動負債が 438 百万円増加したことによります。固定負債は 9,590 百万円となり前連結会計年度末に比較して 122 百万円減少いたしました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比較して 159 百万円減少の 39,556 百万円となりました。これは主に、繰延ヘッジ損益が 179 百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は 54.3%となり前連結会計年度末に比べ 0.5%好転いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は 7,261 百万円(前年同四半期比 1,193 百万円減少)となりました。

営業活動の結果、増加した資金は 1,961 百万円(前年同四半期比 2,421 百万円収入減)となりました。これは主に、売上債権の減少 2,303 百万円、減価償却費 1,400 百万円、税金等調整前四半期純利益 1,020 百万円による収入と、仕入債務の減少 1,260 百万円、法人税等の支払額 867 百万円による支出によるものであります。

投資活動の結果、減少した資金は 1,647 百万円(前年同四半期比 991 百万円支出増)となりました。これは主に固定資産の取得による支出 1,496 百万円によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は 488 百万円(前年同四半期比 115 百万円支出減)となりました。これは主に配当金の支払額 566 百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 24 年 3 月期の連結業績予想につきましては、平成 23 年 5 月 13 日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,546	7,512
受取手形及び売掛金	26,585	24,282
商品及び製品	7,643	7,720
仕掛品	1,246	1,351
原材料及び貯蔵品	1,874	1,869
繰延税金資産	1,191	1,095
為替予約	53	—
その他	817	931
貸倒引当金	△136	△95
流動資産合計	46,823	44,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,580	8,016
機械装置及び運搬具（純額）	4,607	5,360
土地	5,307	5,307
建設仮勘定	555	769
その他（純額）	503	474
有形固定資産合計	18,554	19,927
無形固定資産		
	585	595
投資その他の資産		
投資有価証券	2,610	2,721
繰延税金資産	3,558	3,451
その他	1,769	1,556
貸倒引当金	△88	△72
投資その他の資産合計	7,849	7,657
固定資産合計	26,989	28,180
資産合計	73,813	72,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,024	12,764
短期借入金	2,269	2,350
未払金	3,743	4,185
未払法人税等	849	232
為替予約	—	247
P C B廃棄物処理引当金	13	—
その他	3,483	3,921
流動負債合計	24,384	23,702
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期未払金	116	112
繰延税金負債	130	128
退職給付引当金	6,176	6,060
資産除去債務	210	209
P C B廃棄物処理引当金	79	79
固定負債合計	9,713	9,590
負債合計	34,098	33,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	11,374	11,373
利益剰余金	15,609	15,569
自己株式	△941	△942
株主資本合計	40,683	40,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	387
繰延ヘッジ損益	32	△147
為替換算調整勘定	△1,325	△1,325
その他の包括利益累計額合計	△967	△1,085
純資産合計	39,715	39,556
負債純資産合計	73,813	72,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	42,624	39,731
売上原価	33,669	31,329
売上総利益	8,955	8,402
販売費及び一般管理費	7,908	7,541
営業利益	1,046	860
営業外収益		
受取利息及び配当金	54	53
その他	228	171
営業外収益合計	283	224
営業外費用		
支払利息	50	27
その他	26	27
営業外費用合計	76	55
経常利益	1,252	1,029
特別利益		
固定資産売却益	40	2
国庫補助金	0	2
保険差益	—	22
投資有価証券売却益	—	0
関係会社株式売却益	80	—
貸倒引当金戻入額	127	—
特別利益合計	249	26
特別損失		
固定資産除却損	81	33
投資有価証券評価損	1	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	198	—
特別損失合計	281	36
税金等調整前四半期純利益	1,220	1,020
法人税、住民税及び事業税	437	223
法人税等調整額	159	270
法人税等合計	596	494
少数株主損益調整前四半期純利益	623	526
四半期純利益	623	526

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	623	526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	61
繰延ヘッジ損益	△327	△179
為替換算調整勘定	△158	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	4
その他の包括利益合計	△680	△117
四半期包括利益	△57	408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57	408
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,220	1,020
減価償却費	1,448	1,400
のれん償却額	16	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△131	△56
受取利息及び受取配当金	△54	△53
支払利息	50	27
為替差損益(△は益)	5	1
持分法による投資損益(△は益)	△27	△36
固定資産除売却損益(△は益)	40	31
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	1	2
保険差益	—	△22
補助金収入	△0	△2
関係会社株式売却損益(△は益)	△80	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	198	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,039	2,303
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63	△183
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,775	△1,260
未払消費税等の増減額(△は減少)	△169	△51
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△343	△115
その他の資産の増減額(△は増加)	79	113
その他の負債の増減額(△は減少)	1,312	△415
小計	4,766	2,720
利息及び配当金の受取額	105	110
利息の支払額	△49	△26
保険金の受取額	—	22
補助金の受取額	0	2
法人税等の支払額	△440	△867
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,382	1,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△39	△137
固定資産の取得による支出	△740	△1,496
固定資産の売却による収入	60	2
投資有価証券の取得による支出	△18	△17
投資有価証券の売却による収入	—	1
関係会社株式の売却による収入	80	—
貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△656	△1,647

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△36	78
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△566	△566
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604	△488
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,074	△173
現金及び現金同等物の期首残高	5,380	7,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,455	7,261

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	10,839	18,640	13,145	42,624	—	42,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	82	382	465	△465	—
計	10,839	18,722	13,527	43,089	△465	42,624
セグメント利益	688	642	910	2,241	△1,195	1,046

(注)1. セグメント利益の調整額△1,195百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	10,133	16,565	13,032	39,731	—	39,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	99	217	317	△317	—
計	10,133	16,665	13,249	40,048	△317	39,731
セグメント利益	780	434	884	2,099	△1,238	860

(注)1. セグメント利益の調整額△1,238百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。